

障がい福祉・農業・道路について



丸岡 弘満 議員
(自由民主党・無所属の会)

問 就労継続支援 B 型事業所の利用者収入減の穴埋めとして、昨年県は 1 億 2,600 万円の補正予算を計上したが、市内事業所への支援は、市の支援も限られると思うが引き続きお願いしたい。

答 コロナ禍で生産活動に影響があった事業所で活用され、収益や人賃減少の影響を最小限に食い止めることができたと聞いています。また、本来の通所支援ではなく、自宅において支援を行った場合も報酬の請求ができるようになり、事業所運営が助かった

という声も聞いています。今後もサービス提供事業所の円滑な運営について、国県の制度を活用して支援していきたいと考えます。

問 「ジャンボタニシ急増、県内 20 年度被害過去最大」との報道があった。令和 3 年度の重要病害虫等早期防除対策事業 1,000 万円の内容は。また県は県内 12 力所を選定して経費補助することだが、加西市の状況は。

答 被害地域は加西市南東部から西部へ拡大し、被害報告は平成 24 年 5 町から令和元年 12 町、水稻損害防止事業の要望地区は年々増え、薬剤防除だけでは歯止めがかからない状況です。重要病害虫等早期防除対策事業は、冬場の厳寒期に耕うんして殺菌したり、田植え後の浅水管理が行えるよう圃場を均平化するなど、専門業者への委託事業です。県の補助

対象は、県民局管内で要望調査を行うとのことで、今後も県と連携を図り活用できるよう努めます。

問 県道高砂北条線の整備計画について。市内高校生が、支援学校周辺の路肩が狭く凸凹で困っている現状を「障がい者が我慢しない世の中に」と新聞投稿している。車椅子で生活する彼の思いを県へ届けていただきたい。

答 県の社会基盤整備プログラムの計画にはありませんが、部分補修や修繕等は別メニューがあるため、関係者の要望を取りまとめ、県と協議したいと考えます。

■その他の質問項目

- ・「子育てを応援し、暮らしを愉しむ」ための施策について
- ・「活力とにぎわいのあるまちを育む」ための施策について

学校再編・統廃合について



深田 真史 議員
(自由民主党・無所属の会)

問 既に示された学校の再編・統廃合の工程表では、令和 3 年 7 月末までに、学校の在り方勉強会と視察を終え、それに並行して、9 月末までに、複数のたたきを作成・協議と示されている。つまり、令和 3 年度の上半期に、ある程度案を絞るという意味か。

答 (教育長) コロナ禍で当初の計画と少しずれてきていますが、先進地視察や勉強会を実施し、教育委員が学校の在り方につ

いて、考えを整理・構築するための準備を進めています。その後、自分たちのイメージを作った上で、保護者や地域、教職員などの意見を聞き、市としての学校の在り方を検討し、提案していきたいと考えています。

問 具体的なところがいま一つ見えない。小中一貫教育で進めるのか、進めないのか。学校を集約するのか、併設したままか。具体的な議論をしないと。

答 (市長) 私が選挙のマニフェストで学校の配置問題、在り方検討を掲げて、当選し、執行している状況を教育長は十分認識されています。そして、工程表は教育委員会と相談しながら作っていますので、それを遵守しながら進めていきます。

問 まず教育長は、学校再編・統廃合という、一つのテーマに対してどうしていくのか。

答 (教育長) はっきりしろということですが、その話自体、私の中でまだテーマであると納得していません。再編・統廃合を前提に、是か非かの議論はすべきではないと常に申し上げています。

今、このようにしますと答えを出すと、結局、地域や保護者、先生方と意見交換するという前提ができてしまうので、私のスタイルとしてそれをしたくありません。

